

# 舷 想

第32号



海事代理士の日  
6月1日

一般社団法人 日本海事代理士会

## 目 次

1. 巻頭言	.....	1
2. 本部活動報告	.....	2
3. 役員等就任挨拶	.....	9
4. 委員会だより	.....	17
5. 業務情報	.....	24
・発行図書が増刷にかかる頒布のお知らせ	.....	24
6. 支部だより	.....	26
・各支部活動報告その他	.....	26
7. 会員の声	.....	37
8. 海政連だより	.....	43
9. 会員動向	.....	50
10. 編集後記	.....	51

### <お知らせ>

#### 「舷想」の発行方法が変わりました

「舷想」は、従前の冊子(紙媒体)による発行から、会員ウェブサイトへの掲載による発行に変更となりました。

これまでに発行された海事の窓、舷想も会員ウェブサイトに掲載しています。ぜひご覧ください。

会員ウェブサイト <https://jmpcaa.org/company/login>

会報誌は、『書庫 → 広報誌』に掲載しています

# 巻 頭 言

会長 松 井 直 也



会員の皆様には、日頃から各委員会活動をはじめ会のさまざまな活動に対してご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

6月の定時総会及び理事会で会長に選任されてから約3か月が経ちました。理事会や委員会のメンバーにも変化があり、それぞれの立場で目標を決め活動を開始しました。

初めて会の活動に参加される会員もおられます。最初は戸惑うことも多いかと思いますが、会の裾野を拓げることは大切なことだと考えています。新しい感性で、新しい風を起こしてくださることを期待しています。

本会は来年10月に創設50周年を迎えます。現在、中村副会長をリーダーとするPTで、周年事業として「いつ」「どんな規模で」「何を行うか」について具体的な計画を立て実施に向けて検討を開始しているところです。

この事業は執行部だけ頑張っても成功するものではありません。皆様の協力があって初めて成功するものです。何かいいアイデアがあれば、お近くの理事や広報委員に是非お知らせください。よろしく願いいたします。

本会が社団法人として産声をあげた昭和50年、私は高校1年生でした。私の祖父と父も海事代理士でしたが、その頃の私は設立に向けて奔走された全国の諸先輩のご苦労など知る由もありませんでした。

最近当時の書き物を拝読する機会がありますが、まさに喧々譁々、相手の考えを尊重しつつも自分の意見を堂々と主張されるどころなど、現在の我々も見習うべき点が多々あると感じます。当時から強制会にすべし、強制会を目指すべきだという意見は根強くあったようですが、最終的にはまず社団法人からスタートし、いずれ時期を見て強制会にということでもとまったようです。

業務に関連するところでは、令和4年4月の知床遊覧船事故を受け、その後設置された事故調査検討委員会からの報告をもとに、海上運送法や船舶安全法など多くの法律に改正がありました。既に適用されているものもあります。海事局によるオンライン説明会や各局での説明会も予定されていますが、我々も正しい情報を手に入れ、事業者やクライアントに正確なアドバイスができるように努めなければなりません。

そのためには、本会も皆様に広報委員会や会員WSを通じてできるだけ早く情報を提供できるよう努力してまいります。

会員の皆様の益々のご健康とご活躍を祈念して巻頭のご挨拶といたします。

舷想は会員限定の広報誌です  
続きはこちら



<https://jmpcaa.org/company/>

<お知らせ>

令和6年3月より「舷想」の発行方法が変わりました

「舷想」は、従前の冊子(紙媒体)による発行から、会員ウェブサイトへの掲載による発行に変更となりました。

これまでに発行された海事の窓、舷想も会員ウェブサイトに掲載しています。  
ぜひご覧ください。

会報誌は、『書庫 → 広報誌』に掲載しています

会員 WS の登録がまだの方は、こちらから手続きください。

<https://jmpcaa.org/company/register>